

令和7年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	老人福祉センター武蔵浦和荘					
(2)施設概要	①所在地 さいたま市南区別所7-20-1 ②施設の設置目的 高齢者に対して各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションの便宜を総合的に供与するため ③施設の概要 ホール、集会室、多目的室、窯室、リフレッシュスペース、相談室					
(3)指定管理者	オーエンス・アイルグループ					
(4)指定期間、指定管理料	①指定期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日 ②指定管理料(直近3か年) 令和5年度 14,495千円 令和6年度 14,495千円 令和7年度 15,365千円					
(5)施設の管理運営の内容	①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 ・利用者数 12,139人(前年度12,387人) ・稼働率 全体72.7%(ホール90%)(前年度 全体68.7%(ホール86%)) ◇業務実施状況 ・団体への部屋貸し: 468件、4,259名 (前年度) 519件、4,634名 ・リフレッシュルーム利用: 4,090名(囲碁 2,698名、将棋 1,392名) (前年度) 4,247名(囲碁 2,439名、将棋 1,808名) ・卓球利用者: 671名 (前年度) 540名 ・ラジオ体操利用者: 3,290名 (前年度) 3,440名 ②維持管理業務の状況 施設、付属設備の維持・保守管理(各法定点検等)の大部分は、サウスピア全体で実施しています。 ③その他の業務 ・接遇サービス等のスキル向上の為、個人情報管理等の各種研修、救命講習、防火防災訓練等に参加しました。 ・個人情報について、用紙やデータベースの見直しを図り、管理を徹底しました。 ・紙類やペットボトルキャップ等のリサイクル活動に寄与しました。					
(6)収支状況	収入(費目)	収入(金額)	前年度	支出(費目)	支出(金額)	前年度
	利用料金収入	1,710千円	(1,339千円)	人件費	10,394千円	(10,588千円)
	指定管理料	15,365千円	(14,495千円)	事務費	2,714千円	(2,814千円)
				施設管理費	2,897千円	(2,508千円)
				事業費	1,553千円	(1,351千円)
	【自主事業】					
	収入	-	-	支出	-	-
(7)利用者アンケート等による 市民からの意見・要望等への対応	利用者満足度調査を10月に実施しました。 (調査期間10/15～11/14 計31日間) 【ご意見・ご要望とその対応状況(一部)】 運動系、文化系の講座共に好評を博し、特に「陶芸教室」「元気体操」「エアロビクス」「太極拳」「健康体操」「いきいき貯筋体操」は、利用者満足度調査で高い満足度を得ました。それ故に定員が直ぐに埋まり、予約の取り難さが課題になっていましたが、利用者の需要に応える為に、令和7年度内に講師と相談・調整を図ることで、令和8年度から定員を増やすことが可能となりました。					
(8)その他	適切な節電に努め、電気使用量の昨対比が72.9%になり、サウスピア館内の全事業所(役所含む)の中で、節電率が一番高い結果となりました。また、配架物の数量調整や、データ化による印刷量の減量など、ペーパーレスに努めました。					

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
主催事業について	教室の定員・運用・設備環境等を見直し、改善を進めました。参加意欲向上の為、教室参加者の作品展示の場所や機会の拡大を行いました。また、「季節感」を得られるように、クリスマスや正月等の行事・季節ごとの飾りを強化しました。
サウスピア内併設施設との連携事業について	コミュニティセンターだけでなく、他の併設施設との連携も強化する為、令和8年度に向けて、「武蔵浦和図書館」「子育て支援センターみなみ」との調整や教室からの作品提供等の試策を行いました。
地域・世代間交流について	老人クラブだけでなく児童も参加の囲碁大会を開催や、市内中学生の職場体験「未来くるワーク」の受入れを行いました。令和8年度に向けて新たに、地域の看護学生の実習生の受入れや、高齢者住居での「出張健康相談」を行うための調整を行いました。
施設環境の整備、その他	危険箇所の「見える化」等によるヒヤリハット対策及び「4S(整理、整頓、清掃、清潔)活動」を徹底し、安心安全で衛生的な環境を整備しました。また、広報活動として、老人クラブ会報誌への広告掲載、近隣各所へのチラシ配架を行いました。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

令和7年度から新任施設長による管理・運営体制になり、来期以降に向けての土台作りとして、マンネリ・形骸化・非効率な業務内容の見直しや、施設環境の整備(備品や書類の整理整頓、ヒヤリハット、雰囲気等)、連携事業・地域世代間交流の強化に向けての他施設(サウスピア内外)等へのアプローチを行いました。利用者への声掛けを積極的に行い、コミュニケーションを通じて得られる利用者からのご意見・ご要望を貴重なものとして捉え、可能な限り即応することを心掛けました。結果、利用者満足度調査による「満足」「やや満足」が97.6%と、令和6年度よりも上昇し、総合満足度において高い評価を得ることが出来ました。また、年間を通して、救急対応や事故、特記するような大きなクレーム対応はありませんでした。

課題として、①常連は多いが新規の利用者が比較的に少ないように感じられること、②稼働率の低い集会室、及び利用目的が限定的になっているリフレッシュルームと多目的室の有効活用、③参加率の低い「健康相談」「eスポーツ」の活性化、④サウスピア内併設施設との連携事業、地域・世代間交流事業の強化等があげられます。

令和8年度以降は上記の課題改善を目標に、新規の利用者を取り込めるような企画提案と、広報活動方法の見直しを図り、気軽に立ち寄れるような「居場所作り」の場、地域での相互見守りや助け合える「仲間作り」の場、これらの地域拠点として施設を発展させ、利用者数の増加に繋がっていきたいです。

(2)さいたま市の評価(評価担当課:福祉局長寿応援部高齢福祉課)

総合評価 (B) ※A～D

1 項目別の評価

①市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進に対する評価

- ・利用者の声を積極的に収集してサービスの向上を図り、利用者満足度の向上に繋がっている点を評価した。また、人気講座の定員を増やす調整を行い、平等利用ができるよう努めている点を評価した。

②経費の削減に対する評価

- ・節電により電気使用量を昨年比で約7割に抑えることができた点、ペーパーレス化による紙使用量の削減に取り組んだ点を評価した。

③適正な管理運営の確保に対する評価

- ・問題意識を持ち、積極的に提供サービスの改善や既存業務の見直しに取り組んだ点を評価した。また、今後取り組む課題を明確に設定していることを評価した。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き適切な管理運営に努めてください。